



白門板橋

2012. 3. 15 VOL.37

編集
発行

中央大学学会 東京板橋区支部

〒173-0035 東京都板橋区大谷口1-39-2 TEL03-3956-9054



■巻頭言
駐モンゴル大使・
清水武則氏とのご縁

支部長 石塚 輝雄

新年を迎え、年頭のご挨拶を申し上げます。
昨年は支部運営にご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。
今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、板橋支部の皆様にはすでにご案内の通り、中央大学の學員で、昨年九月一日付で、天皇陛下から辞令をいただき、モンゴル国の日本大使館全権大使に就任した清水武則氏（昭和50法卒）について、私とのご縁をお知らせします。

平成五年七月、私はモンゴル国ウランバートル市へ出張の途中、悪天候のため北京空港で待機しておりました時、公務出張の清水武則氏に初めてお目にかかりました。名刺を交換しましたところ、外務省の職員でモンゴルに滞在したことがあり、モンゴルについての知識・経験が豊かで、誠実な方であることが分かりました。

貴重なお話を伺い、有意義な時間となりました。その後帰国してから、清水さんとは文通が続きましたが、昨年、モンゴルの特命全権大使に就任したことを「學員時報」で知り、本当に喜ばしく、私たち學員の誇りとするところであり、ますますのご活躍をお祈りしています。

次に私は、板橋区とモンゴルとの交流について、平成八年八月十九日、モンゴル国の文部大臣・チェルテミン・ルハグバジャブ氏と区立文化会館で「文化・教育の交流協定」を締結しました。

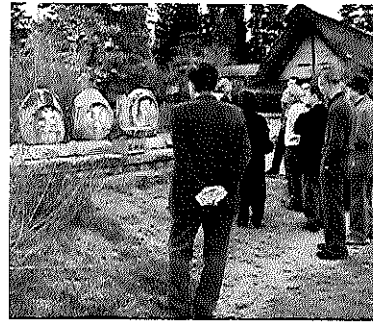
紙不足に困っていたモンゴルの子供たちにノート、教科書等を区民の皆様のご協力を得て、モンゴル文部省を通じて送っていただいたことが協定締結に至り、このことが新聞等で報道され、区民の皆様も交流に積極的に参加され、今日に至っています。

平成二十年二月十六日、私はユンフ・バジャール大統領から友好勲章を贈られました。有難いことです。

支部のニュース

恒例・秋のバスツアー

平成23年の秋のバス旅行は、11月12日、13日、信州安曇野・松本を訪ねました。



▲道祖神を見ている人達

NHKドラマ「おひさま」の舞台となった安曇野の風景を堪能し、国宝・松本城と縄手通り、(蔵の街)中町通りを見学し、充実の二日間の旅でした。
(紀行文は 五ページを参照ください)

紹興酒で年忘れ

平成23年を締めくくる忘年会は、12月10日(土)中華料理「好味来」(大山ハッピーロード)で開催されました。

新入会員2名を含め、参加者は42名。おいしい料理に舌鼓を打ちながら楽しく懇親。

店主から高級紹興酒も提供されて、よりいっそう会話が弾み「来年も元気ががんばろう」と盛り上がりました。



▲挨拶する石塚支部長

新たな平成卒業の会員2名は、先輩達から大歓迎を受け、「平成卒業の会員を増加させ、支部の活性化のためにがんばりたい」と頼もしい挨拶をもらいました。

担当は、板橋ブロックでした。

(三宅正代)

新春の集い

恒例の新年会が1月21日(土)午後6時から区立文化会館大会議室で開かれました。
寒波のため事前に数名の欠席の

連絡があり、57名の会員が集い、定刻に全員で集合写真を撮影。

引続き平山惟美副支部長から新年の挨拶をいただき、母校の近況と昨年125周年記念事業の募金に当支部は78名の会員から671万5千円を贈った事が報告されました。



▲挨拶する平山副支部長

これは、都区内17支部の7番目の金額になります。続いて関上監事の発声で乾杯！歓談の合間に、初参加の会員から自己紹介があり、拍手でもって歓迎されました。

宴なかばに、佐藤義カラオケ同好会会長の主導で演歌のメドレー

が続きました。最後は恒例の「校歌」「惜別の歌」を全員が肩を組んで合唱し、最後は牧吉雄相談役の三本締めで散会となりました。
(池田亘利)

TOPICS ①

気品に満ちた

石塚輝雄氏の筆墨鑑賞

石塚輝雄氏(支部長)の書が、板橋区の書道展に出品されると聞き、鑑賞しました。

その一つは、区立成増アートギャラリーで平成23年9月に開催された「書作家小品展」に、「身閑自為貴」と揮毫された作品です。

もう一つは、区立美術館で同年10月に開催された「書家作品展」で、「孫過庭」の「書譜」を臨書された掛け軸の墨書です。

孫過庭は、中国・初唐の能書家で、「書譜」は、草書の書き方を記述した孫過庭の名著です。

石塚氏はこれを基に臨書され、長い書道歴を持つ石塚氏独自の気品に満ちた大作です。

当日は、区在住の高名な書家前田惣吉氏から解説をいただき、ことができ理解を深めました。また二会場ともに坂本区長もご出品されておりました。

芸術の持つ芳香な世界を満喫した秋日でした。(伊藤潤)

母校のニュース

総長・学長に福原教授就任

昨年十一月五日を以って任期が満了した永井和之総長・学長の後任に、福原紀彦法学部教授が選任されました。



(写真提供 中央大学)

▲福原総長・学長

福原教授は、昭和59年に中大大学院法学研究科博士後期課程を単位取得満期退学し、杏林大学助手、助教授を経て、平成5年中大に戻り、法学部教授を務めています。任期三年。

入学志願者は減少

昨年四千人もの志願者を増やし過去最高の八万六千人を記録しましたが、今年是全国的に偏差値の高い法学部が敬遠される傾向があり、中大でも三千人減少し、商学部と合わせて五千人

の減少となりました。

全学的には、文学部を中心に経済、理工学部が増加したため、差引千五百人の減少にとどまり、八万四千五百人が受験しています。



(写真 平山)

▲理工学部・後楽園キャンパス

野球部秋季リーグは最下位 高橋監督が辞任

低迷を続けている硬式野球部は、昨年秋季リーグ戦で最下位に転落、拓大との入れ替え戦に二勝一敗で辛勝し、一部残留を決めました。

また今年度の日程が終了したところで、高橋善正監督は退任し、後任にOBで中日の内野手として活躍したことのある秋田秀幸氏(56才)が就任しました。高橋前監督は、一部昇格を果た

し沢村(巨人)・美馬(楽天)投手などを育てましたが、リーグ戦では三位どまりで期待に応えることができませんでした。

箱根駅伝八位に終る

新春恒例の箱根駅伝は、五区山上りで苦戦したのがたたり、八位となり、辛うじて二十八年連続シード権を獲得することができました。



今年も監督以下全員が三位以内をめざして臨んだものの重要区間の五区山上が直前まで決まらず、最後に井口主将が志願出場するという不手際があり、目標には程遠い結果になりました。救いは、復路でプレッシャーのかかるなか奮闘した六区代田君、十区塩谷君には拍手を送りたい。

(栗原三郎)

創立一二五周年記念 募金寄付金確定

創立記念事業の一環である記念募金が、昨年12月31日現在で集計され、寄付金総額が次の通り発表されました。

件数 三三三、二四八件
総額 六、三二七、〇九八、四七五円

この中で、学員会の東京都区内支部の実績は次の通りです。

- 一位 一八、六九一千元 港区
- 二位 一六、五七〇千元 大田区
- 三位 一一、四八〇千元 練馬区
- 四位 一一、三二九千元 世田谷区
- 五位 九、七一九千元 杉並区
- 六位 九、六六一千元 中野区
- 七位 六、七一五千元 板橋区
- 八位 五、六八一千元 墨田区
- 九位 五、六五五千元 渋谷区
- 十位 三、九七四千元 江東区
- 十一位 以下略

当支部は十七支部中七位の順位に終わりましたが、ご協力有難うございました。

(推進員・池田亘利)

告知板

●観桜会

開催日 4月7日(土)

場所 茂呂山公園

集合時間 12時集合

集合場所 東上線・

上板橋駅南口

開宴開始

13時より

(観桜会の別紙案内状を参照してください)



●総会日程

開催日 6月16日(土)

会場 文化会館4階

大会議室

開始時間 18時より

(総会の案内状は、後日別途ご案内いたします)

新入会員

▽及川智久(おいかわともひさ)

卒業 平成3年 法卒

住所 板橋区大山西町

職業 行政書士

趣味 野球・将棋・麻雀

(大山・大谷ロブロック)

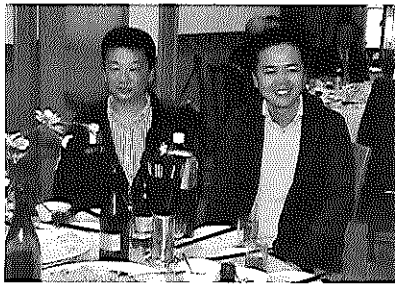
▽坂本一成(さかもとかずなり)

卒業 平成5年 商卒

住所 板橋区板橋

職業 生命保険会社勤務

(板橋ブロック)



▲(左)及川さん・(右)坂本さん

計報

▼藤井 滋(ふじい しげる)

卒業 昭和37年 商卒

平成23年10月22日逝去

(常盤台ブロック)

謹んでお悔やみ申し上げます。

(大野正浩)

歳時記

雛祭り

●三月三日の上巳の節句に、女兒のある家では幸福・成長を願って雛人形を飾り、調度品を具え菱餅・白酒・桃の花などを供える祭。

●歴史をたどれば、古く平安時代から女兒などの玩具とする小さい人形を「ひな」として、紙または土を原料として作り、多くはこれに着物を着せる。

初め立雛が生れ、室町時代には座雛(人形雛)となり、江戸中期以降は今日の雛人形が作られるようになり雛祭に飾るようになった。



▲木目込の内裏様 (写真 平山)

●三月三日の節句の夕方、栃木県小山市では市内を流れる「思い川」に雛人形を流し、神送りする伝統行事があり全国的に有名。

(三宅正代)

TOPICS②

豪風関を応援



1月14日(土)午後2時30分、板橋白門会と白門四一会員24名は両国駅前に集合。大相撲初場所7日目を観戦して豪風の応援に参加した。観戦後は、駅前の「花の舞」で相撲甚句を聞きながら、ちやんこ料理を会食し、四一会との交流を図った。

白門出身者・大相撲最新情報

△豪風(尾車部屋)

本名 成田 旭(平成14年卒)

東前頭一枚目 4勝11敗

△片男波親方

(元関脇・玉春日、片男波部屋)

本名 松本良二(平成6年卒)

平成20年9月引退

現在、協会主任

△大鳴門親方

(元大関・出島、藤島部屋)

本名 出島武春(平成8年卒)

平成21年7月引退

現在、協会審判委員

(池田亘利)

■旅行記 信州・安曇野に秋を 訪ねて

文・写真 伊藤 潤

■大王わさび農場・穂高神社

旅行の前日は雨で12月中旬の寒さでしたが、旅行当日の11月12日はおだやかな小春日和。

グリーンホール横、午前8時集合、菅東一都議に見送られ、安曇野に向かつていざ出発。旅行幹事の三宅正代さんが挨拶、川崎力男幹事がガイド役です。

中央自動車道に入り、府中の競馬場を過ぎて、左手に富士山がくつきりと見える。しかし大渋滞に巻き込まれてしまいました。やがて八王子に入り、それからやとと小休止。今日がこの秋最後の観光日のせいなのでしょう、トイレは、順番待ちで長蛇の列。

そこを出てから、談合坂でも小休止を取り、山梨県大和町を過ぎ、トンネルに入る。トンネルを抜けると、左手に甲斐駒ヶ岳、右手に八ヶ岳が望めます。車窓からの風景は一気に大自然のパノラマに早変わりです。諏訪湖パーキングエリアで小休止。さらに40分ほど走り、安曇野の里に

到着しました。

「プラザ安曇野そば処」で昼食。そば、天ぷら、五目飯そしてビール。旨い。1時間ほど休んでから、大王わさび農場に行きました。太陽が照りつけてとても暑い。広大なわさび農場にある、黒沢 明監督の映画「夢」の水車小屋セット前で記念撮影。

次に向かったのが、穂高神社。この神社は、伊勢神宮と同じように20年毎に遷宮を行い、また、境内には、室町時代の物語『お伽草子』の「ものぐさ太郎」も祭られている由緒ある神社です。



▲大王わさび農場

安曇野には、夫婦和合の神様・道祖神が随所に見られます。午後4時45分、本日のお宿「安曇野 穂高ビューホテル」に到着。このホテルの経営者は、中大OBの加波正一氏です。

温泉につかって汗を流し、夕食の宴会場へ。宴会の席上で加波社長からご挨拶をいただき、安曇野の地酒（大雪溪原酒）が私達一行に振る舞われました。

その一升瓶をかかえた松島道昌区議は、まさに恵比寿顔。原酒のお味は、美酒そのものでした。宴会は盛会で、二次会はクラブの部屋を借り切って歌の祭典。外は静かに更けていきました。

■安曇野散策・松本城

翌日は、和・洋・中バイキングの朝食です。朝食後、ホテルの正面玄関で記念撮影をして出発。

社長がバスに同乗してガイドをしてくださり、皆さんとハイキングをしたとのことのお話でした。

安曇野の野原を散策。大正2年に発表された「早春賦」は、この風景を歌った唱歌の名曲です。

またこの美しい平野は、NHK「おひさま」のロケ地にもなりました。

次の訪問地は、リンゴ園。種々のリンゴを試食。3人でダンボール箱に入った9個・5千円のリンゴを共同購入。帰京してから皆さん、家庭の大蔵大臣から「リンゴの一般価格を知っているの」と大

目玉を食らいました。なにしろ1個555円の高級リンゴなので、でもとてもおいしかった。

松本城はとても混んでいて、記念撮影の後、場内と街中見学者の二手に分かれての散策です。

お昼は「石井味噌」店で取ることに。最初は味噌づくりの説明です。信州味噌は、三年味噌が美味とのこと。味噌の醸造元です。具の沢山入った味噌汁、味噌味のアイスクリームの味噌尽くしで、いずれもさすがにおつな味でした。土産用に、一年味噌、三年味噌を購入。

最後の訪問先は、亀田屋酒造店。母屋には、有名な歌人で国文学者の窪田空穂が家族と写した写真や階段を利用した珍しい和箆筒もありました。

午後3時、現地出発。双葉町エリアと談合坂で小休止。それから先が延々と続く大渋滞。

こういう時は、歌を歌って時の経つのを忘れるのが一番。バスの中はカラオケボックスに変わりました。そして予定より2時間遅れで板橋区役所前に到着、旅行は無事終了です。

同好会通信

カラオケ同好会

「新曲を覚える」

〈佐藤 義〉

歌を歌うということは、それを聴き手にいかに表現し伝えるかが大事なことです。だから歌は「三分間の主人公とかドラマ」などともいわれているゆえんです。

新曲を覚えるため、NHKの「ど自慢」はじめ歌謡番組はほとんど見ます。カラオケ関係の雑誌は毎月購読。これには人気歌手の新曲の歌詞・音譜が載っているのので参考になります。

オリコンチャートで今どんな歌がヒットしているのかにも関心があります。それに毎月カラオケDVDを購入、テレビにセットしてわが家がカラオケボックスに。新曲が歌えるようになったらカラオケ喫茶で自分なりに発表します。

昨年末には、埼玉県歌謡連盟理事長は白門三二会の同期)主催のデザイナーショーで、将来「紅白」出場が期待されている北島三郎音楽事務所の山口ひろみと「クリスマス」を楽しむ会で歌いました。

(カラオケ・会長)

ゴルフ同好会

「支部長杯争奪戦」

〈前田昌則〉



「ゴルフ同好会」の春・秋に開催されるコンペは、ご夫婦で参加され、またご子息を同伴される会員もおり、優しく、楽しい集いとなっております。

コンペとは競技ですから、石塚支部長から昨年春に寄贈された「支部長杯」を目指して熱い闘いも展開され、28年卒・30年卒の先輩達もがんばっています。



▲優勝した栗原三郎氏

板橋白門会の皆さん、この「ゴルフ同好会」に参加され、温かい仲間と一緒にゴルフの上達に励みませんか。

そして美味しいお酒も・・・。

(ゴルフ・広報担当)

囲碁同好会

「楽しい囲碁の世界」

〈布施二郎〉

支部の皆さん、囲碁を楽しみませんか。

新入部員大歓迎です。

囲碁は、石を置くことで、上手と対等に対局できますし、また考えることで、認知症の予防になるといわれています。

毎月第四土曜日に「西池袋囲碁サロン」(電話・三九八五―三二八〇)に午後一時に集合し、三々五番対局し、持ち点制で、優勝と準優勝者を表彰しております。

当日の会費は300円、サロン入場料は700円です。

月例会以外では、五月に「白門練馬支部」との親善囲碁大会、七月に「泊旅行の納涼大会」、十二月には、囲碁忘年会を計画しております。

また、他流試合として、一月月に「板橋区囲碁大会」に挑戦、三月には「白門中野支部囲碁大会」に参加しております。

興味のある方は、事務局・布施(電話 三九六七一―六九三)までご連絡ください。

(囲碁・事務局)

パソコン同好会

「支部のホームページ」

〈伊藤 潤〉

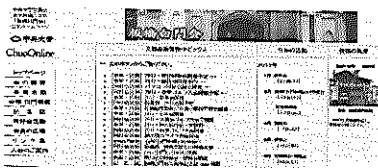
板橋白門会では、支部のホームページをインターネットで展開し好評を博しておりますが、このHPは、パソコン同好会の中にある。「板橋白門会HP委員会」により作られ、アップロードしてウェブページに表示されています。

委員会は、委員長・佐藤道則氏、サーバー管理者・山本仁二氏ほか五人の委員で構成されています。

チームの前田昌則氏はトップページや事業報告など主要な箇所の

取材、写真撮影、編集構成などを担当。

それに笹沼史明氏の技術支援が加わり常に閲覧が可能です。



▲当支部のウェブページ

アクセス方法は、検索画面にて「板橋白門会」と入力し、エンターキーで簡単につながります。

(パソコン・会員)

■白門出身作家シリーズ

『就活に「日経」は知らない』拾い読み



出版社／株式会社新潮社
著者／成毛 真

著者プロフィール

55年北海道生まれ。

80年本学法学部卒業後、

自動車部品メーカー等を経て、

マイクロソフト社に入社。

91年から代表取締役を務め、

00年退社。

その後、インスパイアを設立。

現在は複数企業の社外取締役

及び顧問等を務める。

早大客員教授。

書籍紹介サイト「HONZI」代表。

著書に

『本は10冊同時に読め』

『大人げない大人になれ』

『日本人の九割に英語は

知らない』など多数。

プロフィールから分かるように

著者は、「作家」ではなく、れっき

とした企業人（実業家）である。

したがって、本コーナーのサブ

タイトルである白門出身作家シリ

ーズにそぐわない人であることを承
知で拾い読みした。

*

本書は、一実業家が「就活」に
出遅れた愛娘に授けた型破りの戦
略を著したもので大変面白い読物
になっている。

目次を拾うことで、概要が把握
できそうなので紹介しますと

第一章 父娘の就活戦略会議

第二章 面談では「コイツだつ

たら」を目指せ！

第三章 大学は就活のために

ある場所だ

第四章 私なら、こんな人を探

用する

第五章 今、親のあなたへ

これから親になる人へ

全編が五章から構成されている
が、章区分だけでは具体的な記載

内容が分からない。

例えば、第三章の中では、

・何のために働くのか

・大学の学問は役に立たない

・大学で何をすべきか 等々

極めてまじめな話を展開して、
就活の前提となる「就活の目的
」を著者固有の論拠で説いてい
るのがよい。

そして、大学の学問などは、

ビジネスの社会ではほとんど役
に立たないと言ってくらいだから、
就活に「日経」を読みなさいとは、
一言も言っていない。

活字を舐めただけで、政治や経

済のことなど理解できる訳がな
い、と厳しい。

つまり、手取り足取りの子供に

ベッタリの助言などはなく、冷淡

と思うほど突き放して遠くから

娘の活動を眺めているようにも

思えた。



氷河期を超えて超氷河期の就

職戦線は、経済の再生と少子化に

バランスしない私学の乱立が解

消されない限り、当分は続きそう

だが、大企業志望を辞めて、「俺

（私）が活躍して、会社を大きく

してやろう」という中小企業を受
験する元気な若者が多くなれば
「就活」というコトバは死語にな
ると思う。

特別なことをしたのではなく

就活の途中から、自然体で振舞う
ようにしただけで・素のまま、
普段のままの自分で、おじさんた
ちと面接で楽しく話していただ
けだという父親。

国や社会に依存しない自分自

身のスキルを身につけておいて
欲しい。

それが備えてあれば、他に何の

戦略も戦術も要らないと言う。

そもそも「就活」という訳の分

からない造語を流行させたのは

誰か？「婚活」の二番煎じで、学

生を故意に煽りたてていないだ

ろうか？

私の学生時代の昭和30年代前

半もひどい就職難で、新聞の求人

広告にも保険会社とミシン会社

の営業マン募集が目立ち、反戦デ

モに参加した友人が自衛隊に就

職している。

いずれにしても、就職をめざす

子供さんやお孫さんを持つ方々

には一読の価値ありと、お薦めし

たい。

（平山惟美）

日暮里山の稲荷社

稲荷台の地名の由来は、昔、新堀玄蕃（にいぼりげんば）という武士がいて、日暮里山と呼ばれていた小高い丘に屋敷を構え、稲荷社を祀っていたそうです。

そこで後に人々はこの地域を稲荷台と呼ぶようになったといわれています。

地名の由来…② 「稲荷台」の巻

ます。そのためか町村制以降、昭和七年まで板橋町の小字名で稲荷台として残っていました。

しかし板橋町七丁目となり稲荷台はなくなりましたが、昭和三十二年五月一日に町名及び地番の変更により、再び稲荷台となりました。

江戸時代の末に建てられ、新堀稲荷社といわれた小さな社殿は、明治四十年に日暮里山から双葉町の氷川神社に移されたそうです。

この地域一帯は、大昔から人々が住み着いていた恵まれた土地でした。

昭和十二年六月、日本加工株式会社との総合運動場の地ならし工事中、偶然に見えられた土器片により、遺跡と認定されました。

発掘されたわずかの遺物から撚糸文が施された縄文時代初期の土



▲王子稲荷神社

器であることが判明しました。

出土地の名を付けて「稲荷台式土器」と命名されました。

狐たちの高跳び競技

北区の王子稲荷の境内に「王子稲荷大明神」と刻んだ大灯籠があります。これはもともと中山道から王子稲荷道の分かれ道に立っていた物です。

それほど板橋から王子稲荷に参

詣する人が多かったようです。人間だけでなく狐たちもお詣りしたといわれています。

板橋、豊島、北区などに住んでいた狐たちは、毎年大晦日に集まって誰が一番高く跳べるか競いあつていました。

そして王子の稲荷様から一位、二位、三位と、位をもらっていました。

ある年のこと、板橋の四ツ葉山、中台山、茂呂山等の狐たちが日暮里山に集合して出かけました。

その日は日暮れから山は大騒ぎで、コンコン、キャンキャンとうるさいくらいでした。

狐たちは、この夜のために日頃鍛えた力を思う存分表しました。どの狐もウォーミングアップを畑でピョンピョンやっています。息を切らし目を光らせて汗だくです。

それが闇夜を透かすと、火玉の乱舞となつて、ほんとうに見事な眺めでした。

結果はめでたく日暮里山の狐が第一位を取りましたので、この山に祭られていた稲荷様を誰いうとなく「正一位日暮里山稲荷」というようになったとのことです。

(文・写真とも 中三川孝幸)



* 編集後記 *

●古くから人々に言い習わされたことばに「縁は異なもの味なもの」というのがあります。

正しくは男女の縁を言っていますが、巻頭言での石塚支部長のお話から、男女を超えた人と人との出会いは、いかに大切なものかを教えていただいたように思います。

(編集長・平山)

●この『白門板橋』をどのように編集したら良いのかと常に考えています。

学員の地域支部誌として、また支部の広報誌として、いかなる記事が載ればその役目を果たせるのか。情報だけではなく、文化面も充実したいのです。

当支部では、報道をいちはやく知らせるホームページもウェブ上で展開しています。

ホームページがテレビの役目ならば、『白門板橋』は半季毎の報道の決算書なのだろうかとも考えるのです。

(編集委員・伊藤)